

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	西平井・鯉ヶ崎地区区画整理事業対象事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	西平井・鯉ヶ崎地区区画整理事務所				
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	秋元 敏男				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	西平井・鯉ヶ崎地区	意図	公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図る。
事業内容	西平井・鯉ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業を円滑に進めるために必要な事務事業費である。			
事業開始から現在までの状況変化	既存緑地の保全を中心とした事業計画の見直しを行い、平成25年2月に当初の区域を縮小した西平井・鯉ヶ崎地区と区域から分離し新たに鯉ヶ崎・思井地区として2地区に分けて施行することとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・土地区画整理審議会を1回実施し、仮換地の変更等について諮問し、同意を得た。 ・土地区画整理評価委員会を2回実施し、保留地の販売価格を決定した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,089,234	2,822,374	2,923,125			
事業費(b)(円)		1,959,734	1,723,974	1,412,775			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		1,129,500	1,098,400	1,510,350			
人役・職員(人)		0.15	0.16	0.15			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.45			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	出張旅費の削減に努める。	③取組の課題	事業実施にあたっての協議等が多くなり、出張旅費が多くなった。
②今年度(H29)に実施した取組	出張に代えて、極力メール等を活用し、旅費の削減に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	出張にあたっては、他課と連携し、公用車で乗り合いして経費削減に努める。